

2020年7月4日～7月31日 京都から世界へ各種オンラインメディアにて多様なSDGs情報を配信

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/>

祈りと学びを未来につなげる1か月

家庭で眠っていた「ぬいぐるみ」を回収しSDGsオブジェに。京都大学のシンボルをバックに記念撮影。今後、SDGs学習とセットで各地をキャラバン予定。最終的には、リユース販売され、収益は誰一人取り残さないための取組に寄付する。動画で面白さ倍増！
<https://www.youtube.com/watch?v=BCeBjLr84sk>



- **SDGs KYOTO TIMESとは？** 1,300年の歴史を持つ京都。町や暮らしを持続させる知恵の宝庫です。また、次の千年に向けて、SDGsの年限や目標を超えた挑戦も始まっています。SDGs KYOTO TIMESは、その最新を伝える情報プラットフォームです。様々な媒体（WEBや新聞など）を用いて、時に双方向での交流を目指します。
- **祈りと学びを未来につなげる1か月** SDGs KYOTO TIMESをスタートするにあたって、2020年7月は、オンラインを中心に発信を行います。なんとといっても祇園祭は、世界の安寧を祈る7月1か月がかりの神事・祭事です。日々の行事の内容を伝えると同時に、祭を担い、支える多様な関係者からの、祈りのメッセージや今を伝える情報も届けます。また、産学公関係者や市民・学生から、SDGsに関連する様々なテーマで、学びにつながるプログラムを提供します。コロナ禍で閉塞感のある毎日ですが、今こそ世界の安寧を祈り、ともに学び、将来につなげたいと思っています。なお、この営みは2025年大阪・関西万博や2030年SDGs目標年にもつなげていきたいと考えています。
- 様々なコンテンツ／プログラム（一部仮名）を設定。関心にあわせてご参加ください。

SDGs×祇園祭

祇園祭創始1150年記念プロジェクト

こんちきじーず

～祇園祭の学びと持続可能性、SDGsの若へ～

絢爛豪華な山鉦巡行、賑やかな宵山のイメージが強い祇園祭ですが、実は7月の1か月に渡って執り行われる一連の神事・祭事です。そのおこりは、疫病や災害に対して社会の安寧を祈るもの。

エコ～るど京大では、京都市や関係者とも連携し、祇園祭を通じてSDGsを考える企画を進めています。今年は通常通りの神輿渡御や山鉦巡行は行われませんが、祇園祭の神事等は、一部形状を変えつつ執り行われます。

今年の7月は、祇園祭の深い世界を、SDGsの視点も踏まえながら、みなさんと一緒に学んでいきたいと思います。京都からの祈りが世界に届き、直面している困難を共に乗り越えられることを願いつつ・・・

SDGs問答（講義＆説法）



大学先生やご住職、著名人らが、SDGsをテーマに、説法やユニークな講義を展開します。また、SDGsをテーマにした様々な企業等の取り組みも紹介します。

プラスチックと持続可能性



プラスチック製品は、この100年間で進化を遂げ、私たちの暮らしを支える必需品となりました。一方で、様々な問題も指摘されています。そこで、多様なステークホルダーの方々と、この未知で大切な素材との付き合い方について学びあい、行動（プラ・イド革命）を起こします。キックオフは7/4京大・FRu共創のZoom大編集会議。世界を変えるために「かばんの中からできる10のこと」を話し合います。8/1まで、実践・検証も行う予定です。

京の里山よりSDGs KEIHOKU TIMES

京都を代表する里山・京北地域にて、地方創成／地域循環共生圏の構築に向けた取組を始めています。そのプロセスを共有・紹介していきます。

暮らしを彩るSDGs

難しく思われがちなSDGs。衣食住などから読み解くと、暮らしを豊かに彩る17色に。

その他の共創プログラム

多世代・多分野の方々と「誰一人取り残さない」ための企画など。

毎日一緒に！

マイボトルダンス&体操、1日1SDGs「小さなSDGsみつけた！」などで規則正しい毎日を。

人・愛・知恵 求む！
様々な形で支援して下さい方、参加して下さい方を公募します。

- そのほかにも、新聞や雑誌、ラジオなどの発信形態も模索する予定

- **主催：京都超SDGsコンソーシアム**（京都大学・京都市・㈱リコー・日本たばこ産業㈱・安田産業㈱・ソフトバンク㈱・㈱ecommitほか）
- 詳しくは、<https://eco.kyoto-u.ac.jp/> へ 連絡先：京都大学浅利美鈴研究室／コンソーシアム事務局（075-753-5922、ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp）

SDGs×祇園祭

祇園祭創始1150年記念プロジェクト

こんちきジーズ
～祇園祭が学ぶ持続可能性。SDGsの若へ～

SDGs問答（講義＆説法）



プラスチックと持続可能性



京の里山よりSDGs KEIHOKU TIMES

暮らしを彩るSDGs

その他の共創プログラム

1

4

★10:00-12:00 第一回
SDGs問答（山極壽一京
大総長×17人）ZY

●13:00-16:30 FRaU共創企画
第一回編集会議ZY

★17:00-19:00 TIMES開設記念
SDGsお茶会ZY

6

◎★12:00-13:30 こんちきジーズ
2020開幕スペシャルセッション
YS
◎以降平日のランチタイムくら
いに、15分程度の動画学習コン
テンツ等をアップYS

※三密を避けるため、オンサイトイベ
ントの事前告知は行いません。
※ですが、番組はこれから盛沢山。順次
ご紹介していきます。

15

7/15★ROOTS・香港理工大コ
ラボ企画発表会

17

★アメリカ大使館によるプラ問
題セッション（日程調整中）

24

25

7/25●FRaU共創企画「かばんの
中のプラ」一斉配信s

1

★13:00-16:30 FRaU共創企画
第二回編集会議ZY

31-2

●「祈りの月」感謝ZYS
◎正午位 こんちき感謝と祈りの最終回（予定）

2020年7月4日(土)

10:00～12:00

国連の持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals (SDGs)」には、環境・社会を網羅する17のゴールが掲げられています。英語で、数も多く、とっつきにくいかもしれませんが、一つひとつ見ていくと、私たちの日々の暮らしにも根差したものであり、総体としてみると、社会や街の理解につながる事がわかります。

「SDGs問答」企画では、様々な方をメインスピーカーとしてお招きし、「**持続可能性・SDGs**」をテーマに、問答させていただきます。第一回のメインスピーカーは、日本の人類学者、霊長類学者にして、ゴリラ研究の第一人者である山極壽一先生。質問をぶつけるのは、多世代・多分野の17人。小学生からシニアまで、身近な疑問から、時空を超えた問いかけまで・・・どんな問答が繰り広げられるか、乞うご期待。Zoom参加者と、Youtube視聴者も募ります。

主催：京都超SDGsコンソーシアム（京都大学・京都市・リコー・JT・安田産業・ソフトバンク・ecommitほか）
詳しくは <https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/>

SDGs問答



山極壽一 京都大学第26代総長



お申込み方法

◎Zoomにて、直接、質問をされたい方（限定17名募集）：6/30までにメール（ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp）にて名前、ご所属、お聞きになりたい事項をお知らせください。7/1に質問可否をお知らせします。

◎ZoomやYoutubeにて参加・視聴されたい方：こちらのフォームよりお申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdzxFMWZ_WdSHevUmkuxsMALOWBy4J4WqEwtBEeRIId6BCzenw/viewform P 3

京都大学・FRaU 共創企画
みんなのプラ・イド革命
超SDGsリーダー500人の大編集会議
【第一回（2020年7~8月）】



かばんの中から世界を変える、
はじめかた。
今日、京からできる10のこと。



京都大学・FRaU 共創企画
みんなのプラ・イド革命 超SDGsリーダー500人の大編集会議【第一回（2020年7~8月）】

「かばんの中から世界を変える、はじめかた。 今日、京からできる10のこと」



★★共に世界を変える編集メンバー(超SDGsリーダー)や参加団体 大募集！★★

●明日、世界で常識となる行動様式を生み出すための、全く新しい編集会議

女性誌の常識を覆しSDGsに全面的に取り組む講談社「FRaU」。その人気コーナー『今日からできる100のこと。』を、オリジナル展開。パートナーは、SDGs大学ランキングで日本No.1となった京都大学。国内外にて高く評価される「京都大学プラ・イドチャート」や「かばんの中のプラ」SNSキャンペーンを、学生主体の「エコ〜るど京大」にて生み出し、「京都大学プラ・イド革命」として展開中。

「プラスチックとの持続可能な付き合い方」をテーマに、オンラインだからできるディスカッションやチャレンジで、世界の人が行動変容を起こすような提言を導き出します。事前学習から、1回目のイベント（7/4）でのディスカッションを経て、考察と体験の時間を取ります。その後、2回目のイベント（8/1）でのディスカッションで「10のこと」に絞る予定です。その後も、持続的な取り組みを目指します。

●FRaU編集長をはじめ行政・企業・団体より編集リーダーが積極的に参画

編集リーダー（順不同）は次の通り。7/4のキックオフ会合では、Zoomブレイクアウトにより、直接お話し頂けます。

- 石川淳哉（social good producer）
- 酒井伸一（京都大学教授）
- 関龍彦（講談社「FRaU」編集長）
- 井植美奈子（セイラーズフォーザシー日本支局理事長）
- 岩井正人（日本マクドナルドCSR部マネージャー）
- 太田康子（リコージャパン）CSR女子コミュニティ「CSR48」総監督。
- 小谷美樹（積水ハウス）活躍する女性をたたえる「大阪サクヤヒメ」のSDGs研究会の代表。
- 杉本節子（京町家「杉本家」）
- 釣流まゆみ（セブン&アイ・ホールディングス執行役員）
- 土居健太郎（環境省）プラ対策担当。小池大臣時代にはクールビズ普及の一翼を。
- 矢野阿壽加（洛和会ヘルスケアシステム専務理事・医師）



- 主催：京都超SDGsコンソーシアム（京都大学・京都市・リコー・日本たばこ産業・安田産業・ソフトバンク・ecommitほか）、講談社FRaU、エコ〜るど京大 ほか
- 協力：大阪サクヤヒメSDGs研究会ジェンダー部会、CSR48、2019ミスアースジャパン京都 ほか

「かばんの中から世界を変える、はじめかた。今日、京からできる10のこと」

●トークセッションも豪華！

7/4には、次の通り、編集リーダーによるトークセッションのYouTubeライブ配信も予定しています。ライブでチャットにも参加できます。ただし、情報量などによって途中で切断される場合がありますこと、ご了承ください。

◆13:50～14:30 現場の対話からの変革：プラとの持続可能な関係性構築には、一人ひとりの理解と協力が欠かせません。社会全体としての最適解を見出すことは簡単ではありませんが、コロナ禍においてもフル稼働してきた、医療や小売、行政の現場においても、変革は進んできました。逆に、一致団結して、取組が進んだ事例もあります。

今こそ、弛まず知恵を絞り、努力を重ねる…変革に向けた想いを新たにできるセッションです。

○矢野阿壽加（洛和会ヘルスケアシステム専務理事・医師）

○釣流まゆみ（セブン&アイ・ホールディングス執行役員）

○土居健太郎（環境省）

○聞き手：酒井伸一（京都大学教授）

◆14:35～15:05 海・暮らし・京都からの変革@京町家「杉本家」：プラは、海洋プラ問題から大きく認知され、世界的なムーブメントを起こしています。他方、海から遠い街や暮らしからは、どんな貢献ができるのでしょうか？天然素材を使いこなしてきた京都からの発信は、世界を変えることができるのでしょうか？今日、京から始める変革について語らうセッションです。

○井植美奈子（セイラーズフォーザシー日本支局理事長）

○杉本節子（京町家「杉本家」）

○聞き手：関龍彦（講談社「FRaU」編集長）

◆15:10～15:40 リーダーによる変革：変革には、正しい情報の共有と、様々な形での推進が必要であり、それを確かにするリーダーの存在が重要です。それぞれの形で、SDGsを牽引するリーダーの方々による、元気と勇気をもらえるセッションです。

○太田康子（リコージャパン）CSR女子コミュニティ「CSR48」総監督。

○小谷美樹（積水ハウス）活躍する女性をたたえる「大阪サクヤヒメ」のSDGs研究会の代表。

○岩井正人（日本マクドナルドCSR部マネージャー）

○聞き手：石川淳哉（social good producer）

●見逃し配信もあります！

YouTube参加者は7/3（金）12:00まで受け付けます。

・個人向け：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeKqGLP3aEaxLA5rzK79EbncDMF23ZCLid-eNJH8_tP9ywoBg/viewform

・団体向け：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScn1SdTpj5zN0oX69-o3VTGGseLAcO-xA_1v1M8euCtaSMWPg/viewform

※団体は、代表者1名がまず予備登録を。参加者や人数の確定は6/24くらいの予定。ZOOMでのグループ討議のファシリテーター（次頁）については、自薦他薦も歓迎します。

ただし、情報量などによって途中で切断される場合がありますこと、ご了承ください。その場合は、追って、レコーディング内容をお送りいたします。

「かばんの中から世界を変える、はじめかた。今日、京からできる10のこと」

●第一回（2020年7～8月）の企画概要

【対象】小学5年生からシニアの皆様まで多世代・多分野の方

プラスチックが社会問題化する中、2019年6月27日に京都大学は「京都大学プラ宣言」と導入アクションとしての「#かばんの中のプラ」、広く大きく行動変容を起こすための議論ツール「京都大学プラ・イド チャート」を打ち出しました。1年近くが経過し、議論を重ね、バージョンアップし、可能性が膨らむと同時に、社会実装が求められるこのタイミングで、それぞれのポテンシャルを最大限に活かし発展させるための共創の場を、講談社FRaUというメディア連携を活かした大編集会議という体で開催します。普段持ち歩いているかばんの中にあるプラから、どこまで深い議論が出来る、新たな行動指針を見つけられるのかを、多世代・多分野の組織やコミュニティのリーダーとしての活躍が期待される数百人規模で探り、考え、行動する輪を広げてゆきたいと思います。そのための意気込みを込めて「みんなのプラ・イド革命」と銘打ち、プロジェクトをスタートさせます。

●プログラム（予定；順次更新させていただきます）

- 6月12日（金）から 【参加登録】予備登録&事前学習開始。6月24日くらいに本登録予定。6月末ZOOMグループ発表。
7月3日（金）まで 【簡単な事前学習】サイト上にアップされた教材に従って「かばんの中」を散策
7月4日（土）13:00-16:30 【1回目オンライン編集会議】全体会議、ZOOMグループ討議／Youtubeでの編集リーダーズトーク
7月末まで 【考察&検証】オンライン会議で話し合ったアクションを実際に各自／グループにて検証
★7月25（土）にSNSにて「#かばんの中のプラ（Before）」を一斉発信予定
8月1日（土）13:00-16:30 【2回目オンライン編集会議】オンラインを活用し「10のこと。」を導出。
「かばんの中のプラ（After）」がどうなっているのかにもご注目！

●申込 Zoom参加者は6/30（火）12:00まで受け付けしますが、以降でZoom参加を希望される場合は、メールにてお問合せください。YouTube参加者は7/3（金）12:00まで受け付けます。

・個人向け：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeKqGLP3aEaxLA5rzK79EbncDMF23ZCLid-eNjH8_tP9ywoBg/viewform

・団体向け：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScn1SdTpj5zN0oX69-o3VTGGseLAcO-xA_1v1M8euCtaSMWPg/viewform

※団体は、代表者1名がまず予備登録を。参加者や人数の確定は6/24くらいの予定。ZOOMでのグループ討議のファシリテーター（次頁）については、自薦他薦も歓迎します。

●お問合せ

京都大学調和ある地球社会（超SDGs）研究ライトユニット

京都超SDGsコンソーシアム

京都大学大学院 地球環境学堂 浅利美鈴研究室

メール：ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp 電話：075-753-5922

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/>

〒606-8501京都市左京区吉田本町京都大学物理系校舎北棟7F

★★★団体参加プラン★★★

企業や学校、行政、仲間での団体参加（5～20名程度）も歓迎します。各団体での活動につなげて頂いたり、活動を宣伝する機会に頂いたり…社会変革につながることであれば、この機会を様々な活かし頂ければと考えています。

★京大教員によるSDGs関連企業研修や面談、教材等に加えて、企画におけるロゴ露出がセットになった有料プラン（10万円～）もあります。詳しくは、お問合せ先にご連絡ください。

「かばんの中から世界を変える、はじめかた。今日、京からできる10のこと」

ファシリテーターになって頂けませんか？【最終お申し出：6月30日】

今回は、大人数で、複数のグループに分かれて、オンラインで討議するため、各グループ（1グループ6～8人を想定）に学生ファシリテーターと社会人ファシリテーターを置くことで、スムーズな運用ができるようにしたいと考えております。

つきましては、ファシリテーターをお引き受けいただける可能性のある方を募集します。是非、積極的なご応募をお待ちしております。

●想定される支援内容及びスケジュール

- 6月20日（土） 【第一次締切】ファシリテーターご応募の第一次の締め切りとします。
 - 6月26日17:00～18:30 【第一回説明会】ファシリテーター向け説明会（参加不可の方はレコーディングしたもの＋個別にて）
 - 7月1日12:30～14:00 もしくは 18:00～19:00 【第二回説明会】グループワーク詳細に関する相談会（同上）
 - 7月4日（土） 【1回目オンライン編集会議】ZOOMグループ討議のファシリテーション（学生ファシリと一緒に）
 - 7月末 【取りまとめ支援】学生ファシリによるグループワークまとめの支援・助言
 - 8月1日（土） 【2回目オンライン編集会議】ZOOMグループ討議のファシリテーション（学生ファシリと一緒に）
- ※8月1日（土）のご都合がつかない場合でも、お受け頂けます。

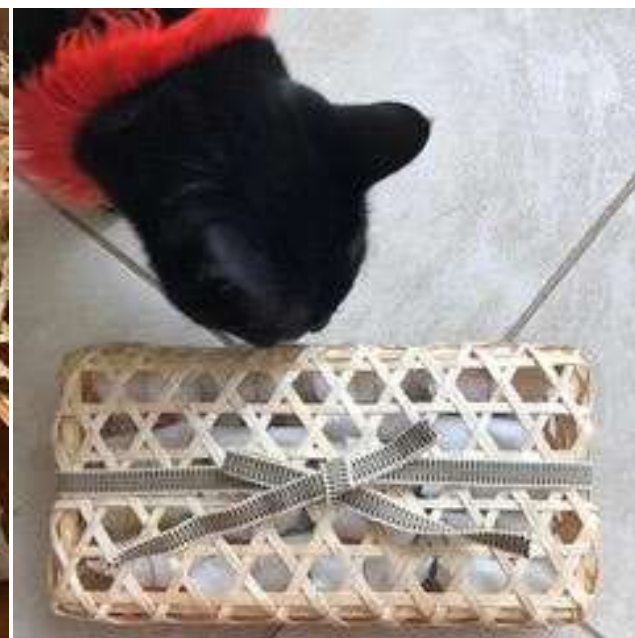
●お問合せ

お受けいただける可能性のある方は、できるだけ早くメール（メールタイトル：フラウファシリテーター）にて、お名前とご所属等をお知らせください。

京都超SDGsコンソーシアム／京都大学大学院 地球環境学堂 浅利美鈴研究室

メール：ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp 電話：075-753-5922 <https://eco.kyoto-u.ac.jp/>

〒606-8501京都市左京区吉田本町京都大学物理系校舎北棟7F



SDGs KYOTO TIMES開設記念

SDGsお茶会

7月4日17:00-19:00

お茶やお菓子を楽しみながら、ゆったりと、京都の暮らしや街とSDGsとの関係性や産学公による取組について語り合います。皆様もご自宅でお茶を飲みながらご参加ください。

オンライン申込フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfysXRcQTHremHpWhT0IO0BgTrch-q7C643aIJVRI_yMnPK5w/viewform

●京都市京北地域からのZoom中継

亭主：いっぷくらぼ 石川チエコ

藤田裕之 レジリエント・シティ京都市統括監

出口裕一 (株)リコー環境事業開発センター事業所長

安田義崇 安田産業(株) 地球環境室 室長代理

浅利美鈴 京都大学大学院地球環境学学准教授

●オンライン参加 川野輝之 (株)ecommit社長

●ビデオメッセージ 池田昌人 ソフトバンク(株)人事総務統括 CSR本部長／SDGs推進室長

●主催 京都超SDGsコンソーシアム

●協力 里山デザイン、京都市京北地域の皆様、エコ〜るど京大、中堂規久子、西山史一、和晃技研(株) ほか



京の里山より SDGs KEIHOKU TIMES

京都の代表的な里山、京北地域。
豊かな自然や文化を活かし、ヒトやモノの好循環を
持続可能な地域の構築につなげる『地域循環共生圏』
の実現に向けた取組を紹介していきます。

KEIHOKU
Style

【参考】主催団体：京都超SDGsコンソーシアム①

〈京都 産学公 SDGsプロジェクトの3つの取り組み〉

NewsRelease

2019年6月27日

京都大学
京都市
日本たばこ産業株式会社
安田産業株式会社
株式会社リコー

京都市をFieldにSDGsを考え、行動し、発信する「京都 産学公 SDGsプロジェクト」を発足 産学公の連携により、持続可能な魅力あふれた街づくりを実践

京都大学学際融合教育研究推進センター所属「超 SDGs研究ライトユニット(正式名称:調和ある地球社会研究ライトユニット)」と京都市、日本たばこ産業株式会社、安田産業株式会社、株式会社リコーは、SDGs先進都市である京都市をFieldに産学公が連携し、SDGsの達成に向けてともに考え、行動し、発信する「京都 産学公 SDGsプロジェクト」を2019年6月27日に発足します。

本プロジェクトは、学者や企業の研究者などが学術研究を行う「超 SDGs 研究ライトユニット(正式名称:調和ある地球社会研究ライトユニット)」と、SDGsの社会実装を目指す「京都超 SDGs コンソーシアム」、SDGsに関する情報交換や議論を行う「講義・セミナー」の3つの活動を推進するもので、京都大学において本日開催する「京都大学<超>SDGs シンポジウム/サイエンスアゴラ in 京都」は、本プロジェクトに基づく取り組みの第一弾となります。

今後は、趣旨に賛同し、本プロジェクトに参加する企業・団体を増やしながら、世界や地域におけるSDGsの取り組みが、真に持続可能な社会の実現につながることを目指して活動を推進します。

＜プロジェクト構成メンバー＞



京都大学
京都市
日本たばこ産業株式会社
安田産業株式会社
株式会社リコー
(企業名 50 音順)

■超 SDGs 研究ライトユニット

京都大学では、SDGsの達成に資する研究・教育・社会貢献活動を、長年、多様な形で展開しており、最近では、多くの学生がSDGsの実践活動に関わって、若い感性でユニークなアプローチを展開しています。こうした議論の輪をさらに広げ、産学公のさまざまな立場から学者や研究者が個人で集まり、学術的な研究を推進してまいります。

■京都超 SDGs コンソーシアム

「超 SDGs 研究ライトユニット」と連携し、SDGsの社会実装を目指す産学公連携による共同プロジェクトです。京都大学においてサステナブルキャンパスモデルの構築に取り組むほか、京都市北部山間地域の森林保全と再生可能エネルギーの利用、環境教育プログラムの開発などに取り組む予定です。今後、本プロジェクトに参画する企業・団体を募り、2019 年秋に活動をスタートする予定です。

■講義・セミナー

第一弾のイベントとして、6月27日に京都大学において「京都大学<超>SDGs シンポジウム/サイエンスアゴラ in 京都」を開催します。

本イベントでは、「資源・エネルギーと持続可能性」をテーマに、様々な専門家とともに考えるパネルセッションや、学生や若手研究者らによるポスター発表、挑戦的なワークショップ、セミナーなどを一日かけて行います。G20 前日に京都から発信する絶好の機会ということもあり、G20 の 20 か国・地域以上の国・地域から学生・若者が集い、G20 でも争点となるプラスチック対策に関する声明も出す予定です。

コンソーシアム設置目的

- (1) 持続可能性・SDGs の視点から、地域社会や個々人のライフスタイルのあり方を議論するシンポジウム等の実施
- (2) 京北地域を中心とする北部山間地域の森林保全と再生可能エネルギーの利用、環境教育プログラムの開発
- (3) 京都大学におけるサステナブルキャンパスモデルの構築
- (4) 2025年の大阪・関西万博に向けて日本全国で展開されている持続可能な地域の実現に取り組む団体等との連携
- (5) その他、持続可能な地域の実現に向けた新たな取組主体の発掘や育成及び情報発信

【参考】主催団体：京都超SDGsコンソーシアム②

【1】産学公連携体（2019年6月27日、京都 産学公SDGsプロジェクトとして発足）

【2】概要

- ・ 持続可能性・SDGs概念や基盤技術・システムの社会実装や展開を念頭に置いて、強み（社会展開力や技術・システム）と熱意のある産官学・市民プレイヤーとともに、千年の都「京都」（SDGs先進度ナンバー1自治体）を中心に、先駆的なSDGsコミュニティを創出する。
- ・ プロジェクトごとに参加主体を調整しつつ、全体としての有機的なつながりも担保する。包括連携や実事業等への展開も推進する。
- ・ 2025年大阪・関西万博及び2030年SDGs目標年をマイルストーンとしてバックキャストिंग的に活動を行う。

【3】構成員・体制

- ・ 幹事：京都大学、リコー
- ・ 事務局：京都大学
- ・ 全体会及びワーキンググループにて構成
- ・ 詳細は規約を参照のこと



【4】活動内容

- ・ 京都と持続可能性・SDGs：京都を地域社会の一つの縮図と捉え、過去・現在を把握すると同時に、将来予測研究（次の千年）結果なども踏まえ、SDGs等の視点から、地域社会や個々人のライフスタイルのあり方を議論する。特に里山（中山間地域）と市街地の連携も重視する。
- ・ 京都の持続可能性・SDGs：京都（京都大学を含む）をフィールドに、持続可能な（中期的にはSDGsを達成する）地域コミュニティ像を描いた上で、そこにつなげるための短中期的な方策を試行・実践する。
- ・ アウトリーチ活動